

授業科目 日常生活活動学実習Ⅰ

【担当教員名】 貝淵 正人、泉 良太、岩波 潤		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）分析・評価および、障害者への支援・指導法など応用的技法について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 健常者の基本動作の特徴を分析することができる。 2. ADL 評価を的確にできる。 3. クライアントのADLを正しく観察することができる。 4. 対象者に真摯な態度で接し、正しく安全に介助することができる。 5. 対象者の予後を想定し、OTプログラムを立案することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	起居動作の分析	1	実習	貝淵、担当：貝淵 正人	
2	ADL 動作分析 1	1・2	実習	貝淵、担当：貝淵 正人	
3	ADL 動作分析 2	1・2	実習	貝淵、担当：貝淵 正人	
4	ADL 評価	2	実習	貝淵、担当：貝淵 正人	
5	姿勢の評価：臥位・座位・立位の観察ポイント	1・3	実習	貝淵、担当：貝淵 正人	
6	寝返りと起き上がり（CVA者）	3・4	実習	貝淵、担当：貝淵 正人 他	
7	座位保持や立ち上がり（CVA者）	3・4	実習	貝淵、担当：貝淵 正人 他	
8	歩行や transfer の診方と介助（CVA者）	3・4	実習	貝淵、担当：貝淵 正人 他	
9	姿勢の評価：臥位、座位、立射の観察の point	3・4	実習	貝淵、担当：貝淵 正人 他	
10	その他の疾患（ataxia）のADLの評価	3・4	実習	貝淵、担当：貝淵 正人 他	
11	その他の疾患（ataxia）のADLの観察の point	3・4	実習	貝淵、担当：貝淵 正人 他	
12	CVA者の床からの立ち上がり	1・3	実習	貝淵、担当：貝淵 正人 他	
13	CVA者のADLの回復や goal 設定	3・5	実習	貝淵、担当：貝淵 正人	
14	CVA者のADL評価からプログラム立案	5	実習	貝淵、担当：貝淵 正人	
15	まとめ			担当：貝淵 正人	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	2008・5,460円
		日常生活活動（ADL）・福祉用具学	木之瀬隆	マジカルビュー	2012・4,410円
参考書		ADLとその周辺 第2版	伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,300円
		I・ADL 第3版—作業療法の戦略・戦術・技術	生田宗博	三輪書店	2012・5,670円
その他の資料					
【評価方法】 (1) 出席2/3以上 (2) 期末試験60点以上 (1)で、かつ(2)の場合、合格とし、期末試験の結果を評価とします。		【履修上の留意点】 動きやすい服装で参加すること。 対象者と接する場合には医療従事者らしい真摯な態度で臨むこと。			